
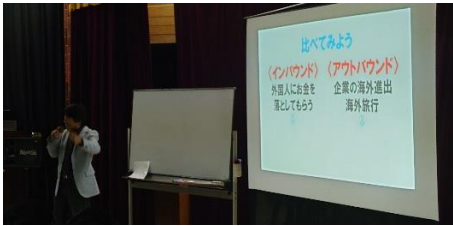


S-TEAM 教育推進事業 「STEAM」 推進プロジェクト
外部連携支援事業（学校活用型）実施報告書

学校名	北海道小樽潮陵高等学校
実施日時	令和5年11月14日（火）14:10～16:00
講師	（所属）有限会社ハローユッキー、代々木ゼミナール （職・氏名）代表、世界史講師・佐藤 幸夫 氏
実施概要	<p>1 ねらい</p> <p>講演会を生徒自身が世界に目を向けるきっかけにし、学びの視野を広げて教養を深めたいという意欲を持たせる機会とする。</p> <p>また、世の中を多面的にとらえ、主体的で前向きに取り組んでいくことの必要性、素晴らしさを学び、探究活動を推進する土台づくりの一助とする。</p> <p>2 日程</p> <p>令和5年11月14日（火）本校記念館</p> <p>14:00～14:10 生徒は記念館へ移動</p> <p>14:10～14:15 講師紹介</p> <p>14:15～15:45 講演</p> <p>15:45～16:00 質疑応答、謝辞</p> <p>16:00～ 生徒は教室へ移動、アンケート記入</p> <p>3 講義、実習等の概要</p> <p>演題「きみたちの歩む世界と未来」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今、日本人はどんな〈世界〉を見ているのか？ ・歴史（歴史総合・日本史・世界史）を学ぶ意味とは？ ・なぜ、大人になると世界史を学びたくなるのか？ ・私が恐れる日本の未来とは？ ・事前質問への回答、当日の質疑応答 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>4 成果（生徒・教員の変容及びねらいの達成状況等）</p> <p>生徒の感想に「今後の日本を考える上で、私たちの世代が世界を知って変えていかなければならない」や「自分がいつも見ているニュースはうそ</p>

ではないがどちらかの意見に寄っている可能性があることがわかった」などの声が数多くあり、この講演会が世界に目を向けるきっかけになり、1つの見方だけではなく物事を多角的・多面的に見る力を身につけることができた。

また、「講演会を経て『勉強になった』で終わってはいけないな、と感じた。この講演で聞いたことが本当なのかどうか検証するためにも自分から歴史などを学んでいかねばならないと感じた。こういった機会では、話を聞いて中途半端に全てを知った気になることが一番恐ろしい」や「歴史はあまり必要ないと思っていたが世界情勢や経済などを知る上で大切なのだとわかった」など、自らの学びの視野を広げて教養を深めたいという意欲を持たせる機会にもなった。

この講演会を通じて、本校のスクール・ミッションである「多様化する国際社会において主体的かつ協働的に取り組む資質・能力を身につけた生徒の育成」、「向学心や探究心を身に付け、自己の進路決定に向けて意欲的に学習に取り組む生徒の育成」につなげることができ、今後の探究活動を推進する土台づくりになった。